

第18回 ～未来このはな～二代目ラウンドテーブルを開催しました

開催日時：2018年9月13日(木) 19:00～20:30

開催場所：此花区民ホール 第1会議室

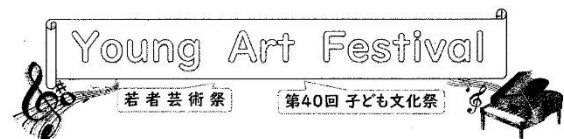
秋の長雨が続くこともしばしばですが、随分過ごし安くなった中での実施となりました「～未来このはな～ 二代目ラウンドテーブル」、このラウンドテーブルは、生活の中で「してみたいこと」をテーマに自由にアイデアや意見を出し合う場です。年齢や性別、肩書は一切関係なしに、此花をよりよくするために何か話そう。何か語ろう。という構想で行っています。参加のルールは簡単で、①お互いの話に乗かって盛り上げましょう、②異なるご意見も尊重しましょう、③多少の脱線も容認しましょう、となります。

毎月第2木曜日に此花区民ホールにて定期開催する予定です。次回は、10月11日(木) 19:00より、区民ホール第1会議室にて開催予定です。参加は事前予約なしの自由参加です。お仕事の都合等での途中参加も歓迎いたします。お時間の許す方は、一度覗いてみてください。

気候が良くなってきたからでしょうか、今回は13名の皆様がお集まりくださいました。お子様連れの方や、久方ぶりに此花に舞い戻って何かを目論んでおられる方など多彩な面々がお集まりくださいました。話題は、前週にえらいことになりました「台風21号襲来」をテーマに据えて話を繋ぐこととなりました。以下に皆様からのお話の一部を要約・抜粋いたします。

〇まずは皆さまへの告知など。

「まだ先の話なのですが、年明けの2月10日に子供会さん主催で『ヤングアートフェスティバル』を開催します。昔は『子供文化祭』と呼んでいたものです。子供が主体の舞台発表、作品展示の催しになります。今年から子供会の若手の方々がメインになって盛り上げようとされていて、募集のチラシも洗練され気持ちがこもっています。出演は小学生から高校生までがターゲットとなります。個人・グループを問いません。15組程度の舞台出演を募集しておりますのでお心当たりがありましたらお声掛けをお願いします。募集は11月の末までとなっております。」



これらを目指す若者の文化・芸術への関心を高め道を開く発表の場！！
【Young Art Festival】に出演・出品を希望される方を下記要領にて募集します。
奮って応募くださいますよう、ご案内申し上げます。

～ 記 ～

開催日：平成31年2月10日(日)
開催時間：午後1時～午後4時
会場：此花区民ホール 【ホール・ロビー】
種目：① 舞台発表の部(時間15分) ② 作品発表の部
(学校・クラブ活動・クラブチーム・自主活動サークル・個人・etc)
対象：① 小学生の部 ② 中学生の部 ③ 高校生以上の部
表彰：各部 最優秀賞(区長表彰)
主催：此花区子ども育成連合協議会・Young Art Festival実行委員会
共催：(一財)大阪市コミュニティ協会 此花支部
後援：此花区地域振興会・社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会
地域女性団体協議会・保護司会・教育文化振興会・PTA協議会
体育厚生協会・視聴覚教育協議会
賛助会員：此花ライオンズクラブ・此花福祉会・(一財)MOA
(昨年度分) (株)近藤商会・(株)井元商会・(株)本田組・(株)政岡土地
NPO法人伝統文化このはな



○『台風 21 号襲来』皆様大丈夫でしたか・・・

「4 階から物置が降ってきました。屋上に置いてあったものなのですが、中の荷物が入った状態で柵を越えて電線をかわして、下の家 2 軒を飛び越えて道路に落ちていました。店の看板、テントなどもひどいものです。」

「屋上の室外機が倒れて廃棄になってしまいました。ベランダの柵の 1 箇所が割れて内側に曲がってしまい、こんなのが外れるの、というものが外れどこかに飛んで行ってしまい近くを探しても見当たりません。誰かに当たったら危なかったと思います。」

「停電がきつかったです。でもすぐ近くの家には電気が点いていたりして、ちょっとむかつかしました。」

「停電が起きるのはブロック毎ではないようです。同じブロックでも点いているところと点かないところがあり、復旧した時も 2 軒だけ点かないこともありました。」

（関電では大きな幹線に障害があるとシステムで把握できるのですが、各戸への引き込み部分で障害がある場合は把握できないそうです。ご注意ください。）



「通り沿いに家が崩れかけているところがあって、一応仕切ってはいますが下を子供さんたちが頻繁に通りますので危ないと感じています。」(持ち主の方が解体の手続きを進めておられるそうです。)

「子供の頃の台風が来た時のことを思い出しました。昔は台風が来るとなると、ご飯を炊いておにぎりをたくさん作り置きし、お風呂や洗濯機、お鍋に水を溜め置くなどしたものです。子供心に何か楽しい気持ちがありました。ラジオとローソクを引っ張り出し、雨戸を閉めて補強するなどしていたものです。」

「水は特に大事です。阪神大震災の時は水が止まってトイレが使えず難儀しましたので、今回もとりあえず水は溜めておきました。」

「停電になるとガスは通っていても機器が電気を必要としますので、結局すべて使えなくなってしまうます。」

「地震はともかく台風は事前に準備が出来ますから。」

「うちには災害用のグッズをリュックに入れてあります。その中にランタンや手回しの発電機などを入れていたので、今回ずいぶん役に立ちました。」

「子供がスマホで色々調べてくれるので助かりました。台風前に準備するものや、ランタンにビニール袋を被せるとボンヤリ明るくなることなど教えてもらいました。」

「テレビが見れないので被害の状況など分からない中、友達から『淀川大丈夫か』などと連絡が入ると慌てるのですが、子供がスマホで避難指示が出ていないことを確認し『大丈夫』と言ってくれると安心します。私のガラケーでは難しかったと思います。」

「翌日小学校が、停電やガラスの破損などで休みにになりました。小学校の体育館は非常時の避難場所になっていると思いますが大丈夫なんでしょうか。とにかく休みの子供の面倒を見るのが大変でした。」

「大通りの交差点の信号が止まっていたのですが、結構皆譲り合っとうまいこと車が流れていました。警察もすぐに来てなかったですが、あの大きい交差点で揉めることなく車が走っていました。」

「停電が4日ぐらい続いて、特に高層住宅のエレベーターが止まったのがきつかったみたいです。水道が止まって下に給水車が来ても運べないと困っている人がいました。」

「電気が時々止まってしまうのでスマホで色々見ていたら、友達から沢山連絡が来ました。NHKのテレビを流していたのですが県単位の大まかな情報しか得られず、この地域のことは全く分からない状況でした。」

「こんな時にSNSは便利です。昔と違って友達がそれぞれ自分の身の回りのことを伝え合っ、あししよう、こうしようと相談できるようになっています。」

「久しぶりにラジオを探して引っ張り出したのですが、普通にいつも通りの番組をやっていて役に立ちませんでした。やっぱりインターネットやSNSの方が情報収集には役に立ちます。」

「区役所もSNS・ツイッターで発信していました。災害時の区役所のSNSは結構役に立ちます。」

「区役所でブルーシートの配布を行っていましたが、この情報はどうやって告知していたんですかね。区役所のHPには掲載されていませんでした。」

(地域の町会長、防災リーダー経由で伝わっていたようです。)

「ブルーシートはとても助かりました。屋根には危なくて登れないので、部屋内に広げて雨漏りを防ぎました。屋根が壊れても素人では危ないので屋根には広げられないですね。」



「実家の片づけをしていた時に、地元の子供さんが『手伝いましょうか』と声を掛けてくれたのは非常に嬉しかったです。これが此花の温かさなのかなと感じました。」

「これまで台風をなめていたところがありましたが、今回は身の危険を感じました。」

「今回はガラスが割れたお宅が多かったようです。昔なら雨戸があつて雨戸を持っていかれることはあってもガラスが割れることはそんなになかったと思います。」

「ガラス屋の友人がいますが、寝る間もないくらいに働いているようです。電話をもらって『夜中でもいいから』と頼まれれば断れないのですが、ガラス1枚程度では儲けにならないと嘆いていました。」

「皆さん知らないかもしれませんが、昔からの火災保険は、地震と違い台風被害には適用されるものが多いですから確認されたほうが良いと思います。保険屋さん忙しいので、確認の電話をすると『写真さえ撮っておいてくれれば認めます』と言われます。自分で現地確認をする余裕がないようです。」

「区内にも一時避難場所にされているところがありますが、停電などしたらどうしようもないですよ。今回も幾つかの小学校が停電していたようです。今回は気候が良かったから多少停電が長引いてもなんとかなりましたが、これが夏の猛暑の中だったらどうしようもなかったと思います。」

「風の通り道によって被害がかなり違っていました。風向きと建物の配置によるのでしょうか、通りが1本違うだけで随分状況が変わってきます。」

○今回の台風で『これは役に立った、これは良かった』というものありますか？

「懐中電灯は必須だと思います。マンションの窓のない空間は停電すると身動き取れません。」

「スマホの充電ができる発電機付きラジオは便利です。」

「家庭電源のコンセントの付いたハイブリッドカーは、停電のときの発電機の代わりになりますので便利です。冷蔵庫や炊飯器の電源程度にはなります。」

「後輩が、部屋が真っ暗になって困っていたのでガスランタンを貸してあげました。明るいですし結構持ちますので便利です。キャンプ用のやつは座りもいいので災害時に重宝します。当然ですがキャンプ用品は持っているところという時に何かと使えます。」

「うちはオール電化の部屋で火気厳禁なのですが、今回停電してしまったので管理会社にガス器具を持ち込んでいいか確認したら、『だめです。』と断られました。それもどうかと思います。」

「保冷剤が沢山あったので、冷蔵庫にこれでもかと突っ込んだら何とか1日持ちました。全部廃棄かと諦めていたので助かりました。保冷剤は貯めておいた方がいいと思います。」

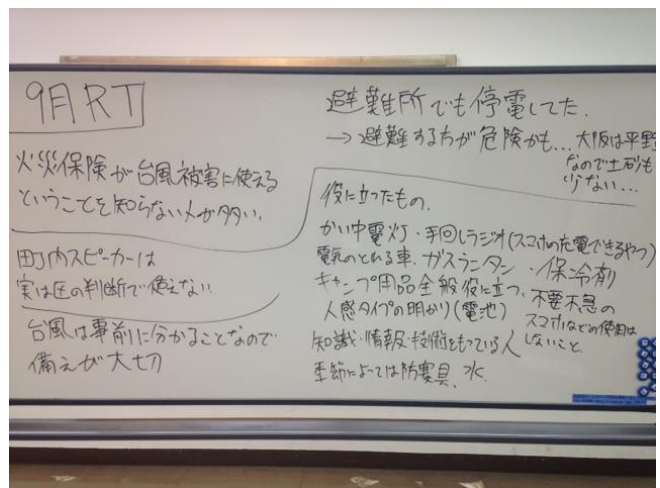
「コンビニでアルバイトをしている知人から『停電したからアイス食べ放題にします』とのお誘いがきました。夜、西九条のコンビニの周りに人だかりができていましたので、多分ここでも無料配布をやっていたのだと思います。」

「以前の防災訓練の時に聞いた話ですが、避難している友人などに、むやみに電話を掛けない方がいいとのこと。携帯電話の電池が切れていざというときに使えなくなってしまいます。」

「手回しラジオは結構すぐに電気が貯まるので使えますね。ライトや携帯の充電にも使えますし。」

「やっぱり人、たとえばキャンプ知識のある人や大工仕事じゃないですけど生命力のある人が近所や友人にいたので助かりました。知識・技術・バイタリティのある人です。また情報を持っている人もありがたいです。」

「此花が下町だなと思ったのが、風が収まったら大勢が出てきて台風ごみを片付け始めたのが印象的でした。普段放置自転車があっても退かしもしないのに、こういう時には一致団結するのが大阪らしいと感じます。」



「トイレの水を準備していたら、息子にいつもは大袈裟だと笑われていたのですが、今回は尊敬されました。」

「ごはんとかではなくお菓子を置いておくといいです。甘いものと塩気のもの、それに水があれば急場はしのげます。」

「JR が前日に止めると言ってくれてよかったです。このおかげで会社・仕事に目途をつけやすかったと思います。」

「観光客は大変だったと思います。何とか手助けしてやりたいですが、そこまで来ると話が大きくなって手に負えません。」

「今回はナメていた部分が多々あったと思いますが、次回からは『台風は準備が出来る』ことですので、今回の反省を基に皆で備えていきましょう。」

災害への備えは、食料・備品など多々ありますが、最も役に立つのは、普段から沢山の友達を作っておくことかもしれません。皆様は日頃の心掛け、大丈夫でしょうか。

以上です。

次回は、10月11日(木) 19:00より、此花区民ホール第1会議室にて開催予定です。
皆様のご参加をお待ちしております。